

君に捧げる応援歌

あと数日で卒業式を迎える3年生、緑学年の皆さんは「感謝・謙虚・奉仕」を合い言葉に、今年度は特に部活動、体育祭や音楽会などの行事、生徒会の委員会活動などで、全校生徒の先頭に立ち、心を尽くし合うことで、本校の新しい伝統も築いてくれました。

そんな3年生への感謝の思いを伝えるために、1, 2年生が実行委員会を立ち上げ、この「3年生を送る会」を計画しました。実行委員長の平野愛沙さんをはじめとした実行委員会は、これまでの3送会は参考にしつつも、新しい案を積極的に出し合いながら、準備を進めてくれました。ありがとうございました。併せて、美術部の皆さんにも、横断幕や壁の装飾を担当してもらいました。ありがとうございました。

在校生による出し物も楽しみです。2年生の出し物の1つである合唱の、初めての練習の場面にたまたま立ち会うことができました。男子が図書室で、女子が音楽室でそれぞれ練習をしていました。練習の様子を見ながら、2年生の歌おうという思いの強さと共に、「君に捧げる応援歌」という合唱曲の歌詞が、聞いている人の心にストレートに響く、とてもいい歌詞だと気付きました。歌詞の後半部分の一部を紹介します。

立ち上がろうとする君に捧ぐ
君への応援歌 全力注ぐ
負けそうな時は思い出してよ
過ごした日々を これまでの足跡 (あしあと)

歩んできた道に仲間がいて
忘れることはない
嬉しかった日
悔しかった日
共に泣いた日
共に笑った日



この歌詞が3送会のスローガン「忘れられない うちの思い出 笑顔と涙50-50」と重なっているように感じました。共に泣き、共に笑った日々は、これから先もずっと皆さんの心に残り続けます。共に歩んできた仲間との思い出は、どんな時も皆さんを支えてくれるはずです。卒業する3年生の皆さんを、ここにいる後輩や学校の職員も応援しています。希望を胸に、扉を開いていってください。

熊谷市立富士見中学校長 田沼 良宣